ごみ搬入路違法性解消案①、②の評価に関する比較表

	①搬入路の北側への集約立体化案		②現状の南北搬入路の残置活用案									
略図												
主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用可能な面積が増加 車両と歩行者動線の分離ができ、安全性が増す 交通誘導員の設置箇所の減少が可能 日野市の所有地のみで解消策の実施が可能 		<ul style="list-style-type: none"> 公園利用可能面積が縮小 車両と歩行者動線が交差 交通誘導員の配置は現状のまま 南側搬入路は、東京都からの借用が必要 ※公園と広場を分断するごみ搬入路が存在し続けるマイナス面もあります 									
総費用 (※20年間想定)	約10.6億円	<table border="1"> <tr> <td>整備費用</td> <td>約6億円</td> </tr> <tr> <td>必要経費 約4.6億円</td> <td>橋梁維持管理 交通誘導員等</td> </tr> </table>	整備費用	約6億円	必要経費 約4.6億円	橋梁維持管理 交通誘導員等	約10.4億円	<table border="1"> <tr> <td>整備費用</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>必要経費 約10.4億円</td> <td>維持管理 交通誘導員等</td> </tr> </table>	整備費用	なし	必要経費 約10.4億円	維持管理 交通誘導員等
整備費用	約6億円											
必要経費 約4.6億円	橋梁維持管理 交通誘導員等											
整備費用	なし											
必要経費 約10.4億円	維持管理 交通誘導員等											
公園利用可否 面積	<p>公園利用可 約3,850㎡</p> <p>公園利用不可 約2,130㎡</p>	<table border="1"> <tr> <td>新規橋梁下部</td> <td>約 320～ 480㎡</td> </tr> <tr> <td>高架化部分</td> <td>約1,080～1,620㎡</td> </tr> <tr> <td>南側搬入路部</td> <td>約2,100㎡</td> </tr> </table>	新規橋梁下部	約 320～ 480㎡	高架化部分	約1,080～1,620㎡	南側搬入路部	約2,100㎡	<p>公園利用可 約140㎡</p> <p>公園利用不可 約4,600㎡</p>	<table border="1"> <tr> <td>横断歩道部</td> <td>約100～175㎡</td> </tr> </table>	横断歩道部	約100～175㎡
新規橋梁下部	約 320～ 480㎡											
高架化部分	約1,080～1,620㎡											
南側搬入路部	約2,100㎡											
横断歩道部	約100～175㎡											
南北の往来	南北の自由通行が可能		交通誘導員によるものになり、制約が継続									
収集車の 通行ルート	国分寺市、小金井市の搬入ルート及び日野市の搬出ルートの変更が必要		ルートの変更はない									
工事時の影響	迂回路が必要、施工時は排ガス・騒音が発生		なし									
都市計画変更	北側搬入路部分は北川原公園から除外する都市計画変更が必要		南北両側の搬入路部分を北川原公園から除外する都市計画変更が必要									